

わ

が

街

わ

が

故

郷

日亜精密工業株式会社と美原町

日亜精密工業株式会社と美原工場のある美原町についてご紹介します。

1. 会社の紹介

Nichia
NCC

日亜精密工業株式会社

所在地

本社は、堺市車之町東3丁1番31号にあり、美原工場は、大阪府南河内郡美原町南余部85番地、さらに「自然と地域社会との共生」をテーマにした大安工場が、三重県いなべ市大安町にあります。

会社の足跡

* 昭和33年8月

堺市大字菩提309番地（現引野町）に日亜精密工業株式会社を設立して、軸受用保持器および防塵板・ベアリング用部品の製造販売を開始しました。

* 昭和42年5月

本社を堺市車之町東3丁1番31号に移転。

* 昭和44年5月

大阪府南河内郡美原町南余部85番地に美原工場を新築いたしました。

* 昭和56年8月

三重県員弁郡（現いなべ市）大安町に大安第一工場が完成いたしました。

* 昭和61年6月

三重県員弁郡（現いなべ市）大安町に大安第二工場が完成いたしました。

2. わが街の紹介

美原町は、飛鳥時代の難波宮と飛鳥京を結ぶ日本最古の宮道「飛鳥道」（後の竹の内街道）に発端を接し、日本書記に黒山の地名が見られるように、大和朝廷の時代から、和泉（堺）と大和を結ぶ交通の要衝として、また、東除川・西除川の両河川に恵まれて、古来から農業を中心に繁栄してきました。

中世・鎌倉時代には、河内鑄物師（かわちいもじ）が、東大寺再興や鎌倉大仏の鑄造などで



河内鑄物師が造った梵鐘（滋賀県・金剛輪寺）

活躍し、大保千軒と呼ばれるほどの賑わいを見せ、今なお全国の鋳物師発祥の地として伝えられています。

明治22年、町村制の施行により美原の村々は黒山村・平尾村・丹南村・南八下村・丹比村の五村に再編成されて、現在の美原町の原形ができました。

昭和31年9月に町村合併促進法に基づいて、丹南村・黒山村・平尾村が合体合併して美原町が誕生しました。

昭和31年に誕生した美原町は、今年9月で町制48周年を迎えます。

また、平成の市町村合併により、堺市と平成17年2月1日に合併することにより、政令指定都市へと移行し、美原区の設置を視野に入れ、美原的コミュニティの維持を基本に、将来にわたる町の発展の基盤を築くため、合併協議会を進めています。

今では、みはらアナピスト館・図書館も開館され、歴史ゾーンの整備においては、ふる里公園の開園、人・夢・創造の建設、そして住民と公共施設を結ぶ環境バス「みはらふれあい号」が運行されるなど、町の様相も変化してまいりました。

大阪都心部まで15km圏内にあり、阪和自動車道や国道309号に加え、大阪と奈良県中部を結ぶ新たな高速道路「南阪奈道路」の完成で、その起点として、大阪都心と南河内地域、さらには近畿中央部といった広域的な交通ネットワークのアクセスゾーンとしての役割がますます高まってきます。

将来のまちのあるべき姿を見据えつつ、道路環境や交通安全施設の整備を計画的に進め、安全で快適なまちづくりに取り組んでいます。

(1)美原町民憲章

*自然に親しみ、生き生きとしたまちをつくりましょう。

*働く喜びと希望にみちた生活の向上につとめましょう。

*伝統を重んじ、教養を高め、人間味あふれるまちにしましょう。

*思いやりの輪を広げ、生きる喜びを大切にしましょう。

*みんなの知恵と努力で魅力あるまちを築きましょう。

(2)町章

この町章は、美原町の「み」を図案化したもので、上部の両翼は町の飛躍と発展を表し、中央の円は住民の円満平和を象徴としたものです。

(昭和35年3月10日制定)



町章

(3)町の木

町にゆかりの人物、楠木正成にちなみ、舟渡池公園などに町のシンボルとして、くすのきが植えられ、住民に親しまれています。また、くすのきの大空に向かって伸びるその雄姿は、躍進する美原町の将来を象徴するのにふさわしい木といえます。

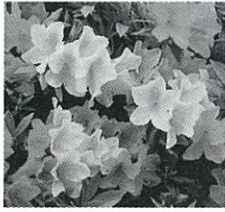


くすのき

(4)町の花

つつじは、春の新緑、初夏の花、秋の紅葉、

冬の木ふりと四季を通じて楽しむことができる花として、舟渡池公園など町内各所に植えられています。春から初夏にかけては鮮やかな花をつけ、住民たちの目を楽しませてくれます。



つつじ



舟渡池公園（大阪緑の百選）

(5)総人口 37,614人（平成12年国勢調査）

(6)面積 13.20㎢

(7)主要幹線 阪和自動車 国道309号
泉大津美原線 西藤井寺線
堺富田林 大阪狭山線
河内長野美原線 美原太子線

(8)町の産業

広域的な高速道路網のアクセスゾーンとして近年ますます注目されており、地場産業である木材の二次加工を中心とした木材工場団地や家具などの木製品の製造を行う家具団地をはじめ、鉄鋼・金属業を中心とした各種工場や事業所に加え、近年ではさまざまな製造業や郊外型の商業施設などが進出してきています。

また、かつてのまちの基幹産業であった農業や植木を主とした園芸は、大都市郊外という立地条件を活用しながら活性化に取り組んでいます。

3. 美原町の文化・歴史

美原町には、5世紀中ごろに築かれた「黒姫山古墳」をはじめ、聖徳太子創建と伝えられる名刹「阿弥陀寺」、菅原道真を祀る「菅生神社」、楠木正成ゆかりの「平尾城址」など、先人たちが残した史跡、文化財が数多く点在するほか、河内鑄物師の発祥地としても知られており、わがまちの長い歴史の連なりと奥深さを感じさせてくれます。



黒姫山古墳



菅生神社



平尾城址

まちでは、これら貴重な歴史文化遺産を積極的に保護し将来に伝承するため、人・夢・創造の交流館の建設を含め、歴史ゾーンの整備を進めています。

(日亜精密工業株式会社 上田 直樹)

